

令和5年 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立両城中学校
(両城中学校区)

全国平均値との差（英語については、「話すこと」調査を除く）

	国語	数学	英語
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0	
令和8年度	—	—	—
令和7年度	—	—	—
令和6年度	—	—	—
令和5年度	+5.2	+1.0	-4.6
令和4年度	+3.0	+8.6	—

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>本校 75% 全国 69.8% 県 70%</p>	<p>重点課題</p> <p>◎文章の一部を直す意図を考えることに課題がある。【書くこと】設問③一の正答率 47.4% 文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。【言葉の特徴や使い方に関する事項】設問③二の正答率 52.6% ◇漢字を文の中で正しく使い、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。【書くこと】【言葉の特徴や使い方に関する事項】</p> <p>改善の方策</p> <p>◎文章を書く際には、自分の考えが伝わる文章になるように、改善点や推敲の意図を考えさせながら書かせる。また、漢字を正確に理解させ、既習漢字を用いて文章を書かせる。 ◇普段から漢字を用いて文章を書かせるとともに、用例を多く取り上げ、使い方に慣れさせる。また、文章や図表などから必要な情報を取捨選択し、自分の考えを表現する場を設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力の類似問題（第3学年 11月）目標 60% ◇標準学力調査（全学年、12月）目標 全国平均との差+5.0→結果</p>
<p>数学</p> <p>本校 52% 全国 51.0% 県 49%</p>	<p>重点課題</p> <p>◎条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることに課題がある。【図形】設問⑨（2）の正答率 23.7% ◇図形について、構成要素を基に解が適切であるかどうかを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。【図形】</p> <p>改善の方策</p> <p>◎ある事柄を証明する際に、必ず根拠を書かせ、説明する際にも根拠を示すように指導する。また、証明を書いた後に条件を変え、成り立たなくなった部分を考えさせる。 ◇与えられた条件を基に、演繹的な見方・考え方を働かせ、言葉や数を用いて説明する場を設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力の類似問題（第3学年 12月）目標 40% ◇標準学力調査（全学年、12月）目標 全国平均との差+5.0→結果</p>
<p>英語</p> <p>本校 41% 全国 45.6% 県 43%</p> <p>※「話すこと」は、全国値のみ推定値</p>	<p>重点課題</p> <p>◎◇文と文のつながりを正確に読み取り、接続詞等の適切なディスコースマーカーを判断することに課題がある。【読むこと】設問⑦（1）平均正答率 36.8% 適切な時制を用いて英文を正しく書くことに課題がある。【書くこと】設問⑨（1）平均正答率 28.9%</p> <p>改善の方策</p> <p>◎◇まとまりのある英文を読む際には、接続詞に着目させる等して文と文のつながりを意識させるとともに、英文を書く際にも接続詞等を用いてつながりのある英文になるように意識させる。また、日頃から現在・過去・未来の時制に留意して英文を書いたり話したりさせる。</p> <p>検証</p> <p>◎標準学力調査（第1・2学年、12月）目標 全国平均との差+5.0→結果</p>

【来年度に向けて】